



ひとりの声を大切に！

# 高山豊彦(とよさん通信)

第21号



2024年(令和6年)冬号

発行責任者：高山豊彦 TEL/FAX：0774-78-2935

E-mail：toyohiko.takayama.3272@gmail.com

WEBサイト：https://www.komei.or.jp/km/takayama-toyohiko-wazuka/

本年は1月1日に能登半島地震が発生し、2日には羽田空港で航空機が衝突するなど悲しい年明けとなりました。被災された方々のご冥福とお見舞いを申し上げます。

さて、2024年度は住民の皆様が長年待ち望んでおられた府道宇治木屋線鷲峰山トンネルの開通や総合保健福祉施設が完成。また、馬場町政として予算編成の初年度でもあり、本町の新たなまちづくりがスタートすることになります。そうした中で12月議会では住民生活を支える価格高騰対策や2024年度予算編成に向けた質問をさせていただきました。

今号では、12月議会に提案された補正予算や私の一般質問等の概要をご報告させていただきます。ご一読いただければ幸いです。



## 12月補正予算の主な内容

### 価格高騰緊急支援給付（追加分）事業

給付金	4200万円
住民税非課税世帯等	1世帯7万円
給付日	2月初旬予定



### 茶源郷和束生活応援商品券事業

商品券補助金	1882万円
1人当たり	5000円分
送付日	1月中旬予定



### 大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業

オープンエアーミュージアム企画設計委託料200万円

## 経営基盤の確保のために

令和6年度から簡易水道事業と下水道事業の特別会計を公営企業会計に移行するため関係条例を改正。このことから、施設等資産の管理が明確になり、経営状況を的確に把握できるため、持続可能な経営基盤の確保が可能になる。



## 燃料クーポン券

令和4年12月及び令和5年5月補正予算分

令和4年12月分・・・3000円分  
令和5年5月分・・・7000円分  
計1万円分は事業者等との調整の関係から1月中旬に送付予定



## 価格高騰対策緊急要望

11月28日に町長に対して、国が進める住民税非課税世帯への緊急支援給付や価格高騰の影響を受ける全ての世帯及び事業者への対策を早期に講じるよう求めました。



## 《 一 般 質 問 》

12月は、次年度の予算編成時期でもあり、馬場町長の初めての予算編成にあたり、第5次総合計画にある①活力を生み出す商工業の振興について、鷲峰山トンネルから府道木津信楽線までの「沿道型サービスエリア」の取組、②環境と共生した生活スタイルの確立について、鷲峰山トンネル開通後の犬打峠周辺及び府道木津信楽線井平尾交差点から瓶原大橋までのゴミの不投棄対策の取組について質問しました。

Q：沿道型サービスエリアのこれまでの取組と、今後の計画は？

A：平成17年度から取り組んでいる雇用促進協議会の成果として、和東茶カフェ開設以来、周辺に4軒の出店があった。今後は次のステージにステップアップするため（仮称）オープンエアーミュージアム構想の具現化に向けて、鷲峰山トンネル開通を契機に茶源郷和東として高付加価値を実現するための施策を講じ、関係機関と議論を重ねていきたい。

Q：交流ステーションや和東茶カフェの運営状況と今後の活用は？

A：和東茶カフェは民間事業者で運営され、現在会員数は43軒で、今年度の売上は約5500万円を見込んでいる。交流ステーションは「和東の郷協議会」で運営され、会員数は84名で、今年度の売上は約1800万円を見込んでいる。  
今後はグリーンティ和東周辺施設を基盤に更なる誘客を図っていきたい。

Q：和東の郷には数名の方が働いておられるが、雇用主は？

A：管理運営を行うため地域おこし協力隊1名を配置、会計年度任用職員2名分の人件費として220万円を町が負担している。

Q：交流ステーションは協議会での運営と聞いているが、和東の郷協議会とこれまでどのような協議をしてきたのか？

A：運営は団体に委託し、経費を3年間応援する中で、特産物の生産・販売と生産者間の交流や来訪者との都市間交流が目的で、最終的には和東茶カフェと同様の形にすることを伝えている。



Q：和東の郷は会員が高齢者で運営に苦勞されている。何らかの支援や、運営についての再協議が必要では？

A：和東の郷協議会の「自分たちが集い・交流し・これを育てていく」という設立趣旨を会員で話し合っていただき、和東茶カフェ周辺を中心とした新たな再構築を行いたい。

Q：買い物困難者への今後の対策は？

A：商工会と連携し「よろずや茶太郎」が町内ほぼ全域を週2回運行している。今後はより利用しやすい移動販売にするため商工会と検討したい。

Q：ゴミの不法対策について、鷲峰山トンネル開通後の犬打峠周辺や、本町の入り口となる府道木津信楽線瓶原大橋までのゴミの不法投棄対策は？

A：犬打峠周辺は不法投棄等が増加する前にパトロールをする予定。府道木津信楽線は山城南土木事務所に定期的にゴミ清掃の要望をしている。

Q：不法投棄されたゴミ処理費用は誰が負担するのか？

A：地権者の負担となる。

Q：周辺に監視のための防犯カメラや啓発看板の設置はできないか？

A：カメラは個人のプライバシーの関係もあり難しいが、警察も含め検討したい。啓発看板の設置は場所を見極めながら立てたい。また、観光など出入りされる方々のモラル向上の啓発活動も取り組みたい。

